

「恵み」

私たちに与えられた恵みを考えてみれば、どんな逆境にあったとしても受けているものの方が、与えるものより多いことに気づく。受けた恵みをどこかで返そうと考えたいものである。

(いのちの言葉 日野原 重明 より)

新年あけましておめでとございます。1月は旧暦で「睦月」とも呼ばれます。仲良く親しむことを意味する「睦む(むつむ)」という言葉から、お正月に家族や親類が仲良く過ごす姿を表したことが由来とも言われています。去年は世の中がとても厳しい環境であったこともあり、なお一層今年は良き1年であることを願っております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

2020年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、人との接触を減らすことを求められる年でしたが、改めて人と人とのつながりや命の大切さや、今までの当たり前がかけがえないものであることを感じました。その逆境の中、家族や友だちなど大切な人との絆を再認識したり、家から出られなくても日常の中で時間を大切に過ごすこと、丁寧に生きることへの尊さを考える機会となりました。不安から誹謗中傷や冷静さにかける行動を起してしまう人もいましたが、すでにある幸せに気づき感謝することで心豊かに過ごせるのだと思います。「感謝は返謝してこそ完成する(北川八郎)」の言葉のように、自分のできる方法で感謝の連鎖を心がけていきたいと思っています。

感謝の心を育むために、自分が愛されていることを知りあらゆる自然や人、ものに支えられながら生きていることを知る機会が持てるよう、大きな愛情で受け止める保育を大切にしています。

クレイシュ保育園 園長 小清水 幸子
職員一同

1月聖句
神は愛です。

ヨハネの手紙14章16節

1月主題
「まもられて」0歳

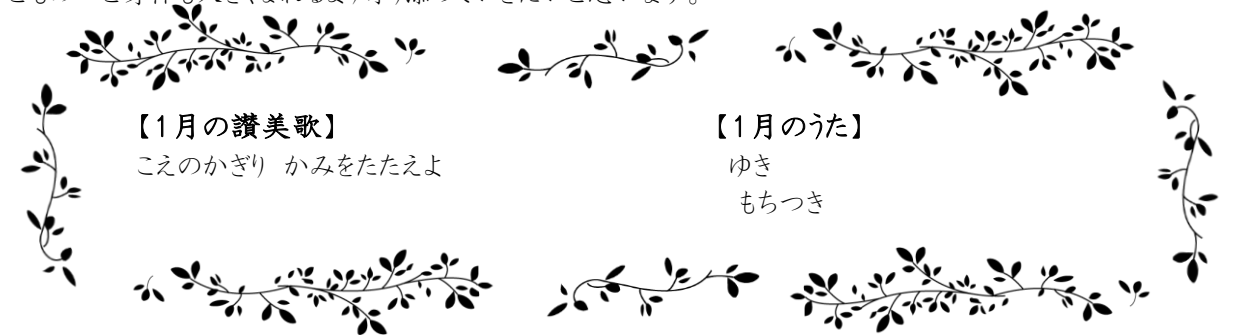
- ・神さまにまもられていることを知る。
- ・友だちの存在を身近に感じ、関わり合う。
- ・保育者に見守られながら自分ですることが増える。

1・2歳

- ・イエスさまを身近に感じる。
- ・友だちと関わりながらごっこ遊びを楽しむ。
- ・思いや遊びが尊重されて安心して過ごす。

～子どもたちの姿～

新春のお慶びを申し上げます。新しい1年が皆様にとって笑顔がたくさん年となりますよう、お祈り申し上げます。12月に行われたクリスマス祝賀会では、新型コロナウイルス感染症の影響により例年通りに行うことが出来ませんでした。感染防止対策に努めご開催することが出来ました。ご協力ありがとうございました。子どもたちは日々の生活や遊びの中で様々な音に触れ、リズムに合わせて自由に身体を動かし、なりきり遊びの中で衣裳を身に纏うなどの経験を繰り返し感性を育ててきました。当日は、普段と異なる環境に不安な表情を浮かべる姿もありましたが、一人ひとりの成長や年齢による発達も表現活動の中で感じて頂けたことを嬉しく思います。今年はどうな成長を見せてくれるでしょうか。色々な経験をしながら子どもの心と身体も大きくなるよう寄り添っていきたいと思います。



	月	火	水	木	金	土	日	
1月の予定表					1 元旦	2	3	
	4	5	6	7	8 身体測定	9	10	
	11 成人の日	12	13	14	15	16	17	
	18	19	20 避難訓練	21	22	23	24	
	25 誕生会	26	27	28	29 クレイシュ通信	30	31	
	◎日中は園庭で遊んだり散歩に出かけます。動きやすい服装での登園をお願いいたします。							
	◎インフルエンザなど感染症の疑いがある場合は医療機関を受診の上、担任までお知らせをお願いします。							